新生児医療連絡会 2025年第1回役員会 議事録

日 時：2025年4月19日(土)8:30～9:30

会 場：名古屋港金城埠頭港湾労働者福祉センター 大会議室

(議題中すべて敬称略)

・役員 30名中、現地 20名、オンライン 9名の出席を得て開催された(欠席 1名)。

I. 報告事項

1. 会員状況(2025年4月19日現在)(杉浦 弘)

1) 会員数 **486名** (前回479名 入会申請 21名、退会者 14名)

2) NICU代表 **248施設** (前回246施設)

・上記のとおり報告された。

2. 会則の変更案(杉浦 弘)

新生児医療をとりまく重要課題が山積するなか、各種情報収集を行うにあたり厚生労働省との連携がますます重要となってきている。こうした連携を積極的に行うために必要な経費を連絡会会計から拠出できるよう、会則第7章第16条の会費・会計の項目に以下の内容を追加する審議を行い、〔通信役員会250206〕にて承認された。

については以下のとおり会則の追加を2025年第1回総会で審議する。

「第16条2 本会の目的達成のために執行部(会長・事務局長・副事務局長)および執行部が活動を依頼した会員が出張業務を行う際は、その旅費・宿泊費を会計から支給することができる。」

・上記のとおり報告された。

3. 災害時連絡網訓練の実施時期の変更案(杉浦 弘)

かねてより毎年3月11日に災害時連絡網の訓練としてメール配信を実施してきたが、年度末による異動の時期のため、今後は9月1日と1月17日の年2回行うこととした。

・上記のとおり報告された。

4. MFICU連絡協議会・新生児医療連絡会 合同総会(杉浦 弘)

きたる7月14日(月)に大阪で開催する総会に際し、診療報酬改定に向けた協業などを目的として、全国周産期医療(MFICU)連絡協議会と合同で総会を開催することとなった。双方の執行部と事務局とで打ち合わせを行い、以下のプログラムを計画している。

18:00～18:30 それぞれにわかれて総会(30分、移動時間も含む)

18:30～19:00 合同シンポジウム：厚生労働省+MFICU代表+連絡会会長(30分)

19:00～19:30 意見交換（30分）

合同懇親会（会員全体を対象、現地で会費徴収）

- ・MFICU連絡協議会・新生児医療連絡会双方の状況を理解することを目的として企画されたことが報告された。連絡会からは周産期センター集約化の問題などが主な報告内容となる予定である。
- ・連絡会会長として報告を行うためのオンラインアンケートを実施する予定です。ご協力よろしく申し上げます。

5. 今後の予定（杉浦 弘）

- 1) 2025年第2回役員会・第1回総会 7月14日(月) 大阪
MFICU連絡協議会・新生児医療連絡会 合同総会
(第61回日本周産期・新生児医学会学術集会2日目)
 - 2) 2025年第3回役員会・第2回総会 11月14日(金) 横浜
(第69回日本新生児成育医学会・学術集会2日目)
- ・上記の予定を共有した。

II. 協議事項

1. 新入会（2024/11/8～2025/4/18）（杉浦 弘）

25/01/16	斎藤 朋子	(神奈川県立こども医療センター 新生児科) ※承認済
25/02/06	有光 威志	(慶應義塾大学医学部 小児科)
25/02/21	田仲 健一	(熊本大学病院 小児科)
25/02/24	中村 幸介	(甲府病院 小児科)
25/02/26	濱畑 啓悟	(神戸市立医療センター中央市民病院 小児科・新生児科)
25/02/26	中村 秀勝	(北海道立子ども総合医療・療育センター 新生児内科)
25/02/27	福島 秀晃	(JA 愛知厚生連海南病院 小児科)
25/02/27	齋藤 なか	(鶴岡市立荘内病院 小児科)
25/03/03	大川 夏紀	(順天堂大学医学部附属静岡病院 新生児科)
25/03/05	釵持 孝博	(横浜市立大学附属市民総合医療センター 新生児科)
25/03/07	宮本 学	(獨協医科大学医学部 小児科)
25/03/07	加藤 正也	(獨協医科大学医学部 小児科)
25/03/07	桑原 春洋	(魚沼基幹病院 地域周産期母子医療センター)
25/03/08	佐藤 智樹	(仙台赤十字病院 新生児科)
25/03/10	秋元 琢真	(函館中央病院 小児科)
25/03/14	兼重 昌夫	(国立国際医療研究センター 新生児科)
25/03/21	岸上 真	(高槻病院 新生児科)
25/03/31	戸川 貴夫	(豊橋市民病院 小児科)

- 25/04/01 宇都宮 剛 (兵庫医科大学 小児科学)
25/04/10 大高幸之助 (磐田市立総合病院 小児科)
25/04/11 藤田 智香 (磐田市立総合病院 小児科)

・上記 21 名の入会が承認された。

2. 2024 年度決算報告 (事務局)

- ・災害時連絡網の運営にかかる事務経費・Web 業務経費については、従来はくまモン救児募金募金から拠出してきたが、本年度からは、連絡会本体から拠出する。
- ・2024 年度決算が承認された。

3. 幹事・都道府県代表の交代 (杉浦 弘)

1) 幹事

関東幹事

- ・飛弾麻里子 (さいたま市立病院) ⇒検討中
- ・細野 茂春 (練馬光が丘病院) 退任

九州幹事

- ・岩井 正憲 (宮崎県立延岡病院) ⇒猪俣 慶 (熊本市民病院)

2) 都道府県代表

山形県

- ・饗場 智 (山形県立中央病院) ⇒若林 崇 (同左)

茨城県

- ・宮園 弥生 (水戸赤十字病院) ⇒雪竹 義也 (茨城県立こども病院)

熊本県

- ・岩井 正憲 (宮崎県立延岡病院) ⇒猪俣 慶 (熊本市民病院)
- ・上記の交代が承認された。関東幹事については引き続き検討いただく。

4. NICU マニュアル第 6 版の制作状況 (徳久琢也)

以下のスケジュールで発刊を計画中である。

2025 年 5 月末 校了

2025 年 7 月上旬 発刊。学術集会時には販売予定。価格は 8,000 円 (税別)

- ・上記のとおり報告された。

5. くまモン救児募金の取り扱いについて（杉浦 弘）

くまモン救児募金については、熊本への医師派遣終了後、特段の用途が設定されないまま、現在125万円の額が残ったままになっている。本募金についてはかねてより有意義に活用できないかと議論になっていた。本役員会で審議を行う。

（案） ・次に起きる大災害の超急性期の支出用資金、ほか

- ・災害時の超急性期には現金が必要となる場面もある。緊急時にどのように使用できるかを決めておくことは意義があるとの意見があがった。
- ・本救児募金を行うことになった経緯などを、旧執行部に確認することとした。そのうえで継続審議とする。

6. ホームページ追加制作費用（事務局）

- ・会員専用サイトに設置された会員検索システムの制作費209,000円の支出について承認された。

7. 創立40周年記念誌（杉浦 弘）

連絡会は1985年5月に設立され2025年で創立40周年を迎える。過去には以下の冊子を発行している。記念誌の制作について検討する。

2007年7月 創立20周年記念誌 発行

2016年5月 創立30周年記念誌 発行

- ・創立40周年記念誌を制作する方向で検討を進めることとした。

8. NHKからの問い合わせの件（徳久琢也）

日時) 2025/03/31

内容) NHK報道局科学文化部・記者の山下と申します。

いま医師や医療資源の不足などによって

小児医療の現場にどのような影響が出ているかについて取材をしています。

取材の中で、貴会で診療報酬の状況について全国調査をされていることを知り、

どのような影響が出ているのかご教示いただけないかと思い、

ご連絡を差し上げた次第です。

お忙しいところ恐縮ですが、ご相談をさせていただきますと幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

- ・執行部でまずは取材内容を受け付け、誰がどのように回答するかについて検討し、役員会にも共有することとした。